

**TTC標準**  
Standard

**J T - G 1 6 5**  
**エコーキャンセラ**

ECHO CANCELLERS

第 1 版

2003 年 4 月 23 日制定

社団法人  
**情報通信技術委員会**

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、(社)情報通信技術委員会が著作権を保有しています。

内容の一部又は全部を(社)情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

## 目 次

|                      |   |
|----------------------|---|
| < 参考 > .....         | 3 |
| 1 . 標準の概要 .....      | 4 |
| 2 . 本標準で規定する内容 ..... | 4 |

< 参考 >

1 . 国際勧告等との関係

本標準は、1993年3月に国際電気通信連合電気通信標準化部門（ITU-T）SG15会合において勧告化されたITU-T勧告G.165に準拠している。

2 . 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1 オプション選択項目

特になし

2.2 ナショナルマター項目

特になし

2.3 原標準に対する変更項目

特になし

3 . 改版の履歴

| 版数  | 制定日        | 改版内容 |
|-----|------------|------|
| 第1版 | 2003年4月23日 | 制定   |

4 . 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで御覧になれます。

5 . その他

(1) 参照する主な勧告、標準等

TTC標準 : JT-G711

ITU-T勧告 : G.113、G.122、G.164、G.227、G.712、Q.271、Q.724、V.2、V.25、H.51

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元であるITU-T勧告によっている。

具体的な規定内容はITU-T勧告を参照する必要がある。

6 . 標準作成部門

網管理専門委員会

## 1．標準の概要

本標準は、通信路中に存在する2線4線変換回路のインピーダンス不整合によって発生するエコーに対して、これを除去する機能（エコーキャンセラ）の特性測定方法及び測定値の許容範囲を規定する。

本標準は、送信経路に出力した送信信号が、2線4線変換回路において受信経路に漏れ込むエコーの除去に関して規定するものであり、スピーカを用いたハンズフリー電話機、ハンドセットの受話音量が極端に大きいことなどによる音響エコー、あるいはエコー経路が非線型となるような場合におけるエコーの除去に関しては規定範囲外である。

通信経路中の2線4線変換回路で発生するエコーは通話を妨げる。エコーキャンセラなどの適切なエコー除去手段を用いることによって、通話品質を良好にすることが可能である。

## 2．本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記のITU-T勧告による。ITU-T勧告中で参照している標準は表1-1に示す標準に置き換えるものとする。

ITU-T勧告 G.165 : 「ECHO CANCELLERS」(03/93)

表1-1 本標準で置き換えて参照する標準

| ITU-T 勧告中の参照先標準      | 本標準で置き換える標準    |
|----------------------|----------------|
| ITU-T 勧告 G.711(1988) | TTC 標準 JT-G711 |